

RYOBI

丸太用カンナ

L-450M

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6981891 (M)



●特 長

- アーチ型フロントハンドルの採用により、作業性は抜群です。
- 大きな屑ハケ口はカンナ屑のつまる心配がありません。
- 本体はアルミ鋳物により堅牢でしかも作業のしやすい構造、作業者への反発を極力抑えてあります。

●仕 様

電圧……………单相 100V
定格電流……………13.5A
周波数……………50/60Hz
消費電力……………1200W
無負荷回転数……………13000R. P. M.
カンナ刃巾……………136mm
コード長……………6m
重量……………9kg

●通常附属品

ボックススパナ、カッター調節定規、
カッター手研ぎ保持器、工具袋

●用 途

丸太材の荒削り、皮剥ぎ等

●仕様

電圧	………	单相 100V
定格電流	………	13.5A
周波数	………	50/60Hz
消費電力	………	1200W
無負荷回転数	………	13000 R. P. M.
カンナ刃巾	………	136mm
コード長	………	6 m
重量	………	9 kg

●通常付属品

ボックススパナ、カッター調節定規、
カッター手研ぎ保持器、工具袋

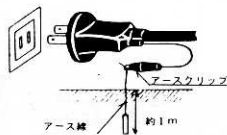
●用途

丸太材の荒削り、皮剥ぎ等

●ご使用に当りましての注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

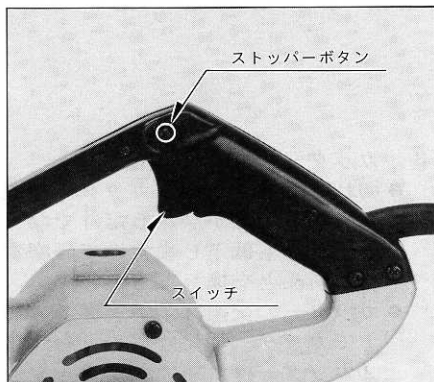
- 被削材に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があればカンナ刃を破損し、仕上げ面は、きたなくなります。
- 刃物の取付け、取外しの際は十分に気を付け、けがのないようにしてください。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は、異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 切屑排出口には絶対に指などを入れないよう注意して下さい。カンナ刃が高速回転していますので危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転になり危険です。逆に低い電圧で使用しますと、力不足となります。
- 運転中はカンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 延長コードを使用される場合、長すぎるコードや線径の細いコードを使用されますと、電圧降下が大きくなりモーターの力不足、モーター焼損の原因となります。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後加工を始めて下さい。安全で能率良く、きれいな仕上げ面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をするためには、作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は、機械の可動部に巻き込まれる恐れがあります。又、屋外の作業ではゴム底の運動靴等をはかれますとより安全な作業ができます。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用后、及び停電の際には、差し込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、差し込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いたときには直ちに使用を中止して下さい。
- 感電事故を防止する為ご使用に先だち必ずコード端にあるアースクリップを接地して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただくためには、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。



- より差し込みプラグを電源に挿す前に次の事項を注意し必ず守ってください。
- 必ず銘板に記載されている電圧（100V）でご使用下さい。
 - 電源プラグを差し込むときは、スイッチが切れていることを確認して下さい。また作業を途中で中止する場合には、必ず電源プラグを抜いて下さい。
 - 危険ですから空回転は避けて下さい。
 - 指をスイッチにかけたままでの持ち運びはしないで下さい。

●スイッチ

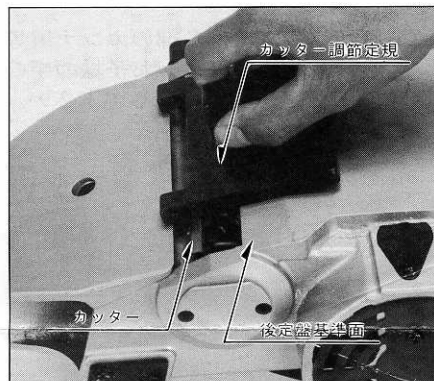
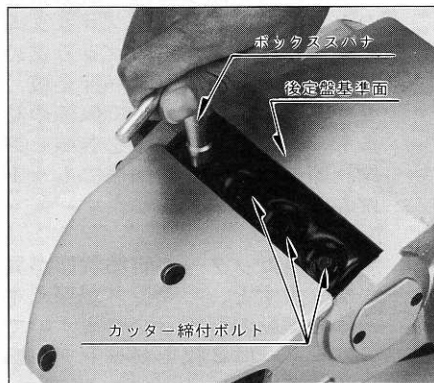
- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。またスイッチを引いた状態で握り部のストッパーボタンを押すと、引き金を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くと、ストッパーボタンがはずれスイッチは切れます。連続ご使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



●カッターの刃先調節（電源OFF）

- 刃先調節は電源プラグを外し、スイッチが切れた状態になっているか確認した上、次の順序で行って下さい。

- ①カッターが軽くスライドする程度にカッター締付けボルトをボックススパナでゆるめます。
- ②刃先が後定盤基準面より少し出るようにカッターをセットします。
- ③カッター調節定規で刃先を押えながら後定盤基準面に密着させ、刃先を後定盤基準面と同じ高さにします。
- ④カッター締付けボルトをボックススパナで締付けます。
- ⑤もう1枚のカッターも同様にして調節して下さい。



●切削時の注意

- スイッチを入れ十分にモーターの回転を上げてから切削して下さい。
- モーターの回転数がおちたり、Vベルトがスリップする場合は負荷のかかりすぎです。切削速度を遅くする等して下さい。
- 切削は本体後方を少し高くするようにすればスムーズな切削が出来ます。



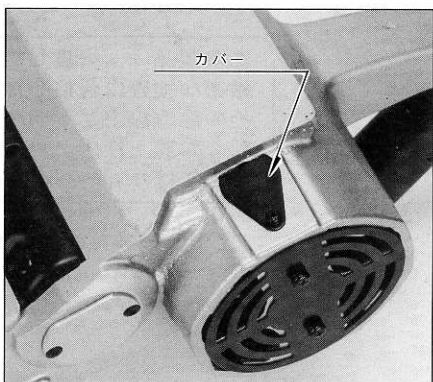
●保守と点検

1. カーボンブラシについて (電源OFF)

- 本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシが全長の1/3以下になりましたら新品と交換して下さい。

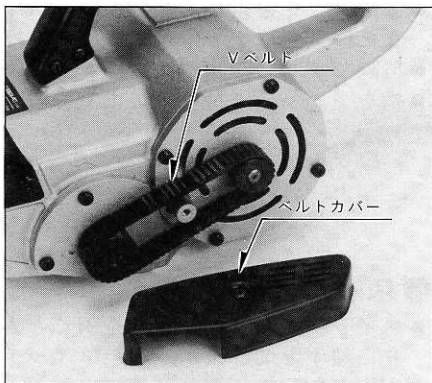
短くなったカーボンブラシをそのままご使用になりますと、モーター焼損の原因になります。

- カーボンブラシは2個1組で交換して下さい。
- カーボンブラシの交換はカバーを取り (下側のみ)、(-) ドライバーでブラシキャップを外せば簡単に行えます。
- 交換の時カーボンブラシがブラシホルダー内をスムーズに前後するか確認して下さい。



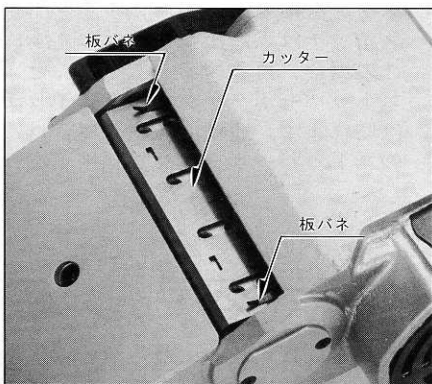
2. Vベルトの交換 (電源OFF)

- ご使用中Vベルトがスリップしやすくなりましたら早めに新品と交換して下さい。摩耗したVベルトは作業能率を低下させます。
- Vベルトの交換は (+) ドライバーでベルトカバーを外して行って下さい。



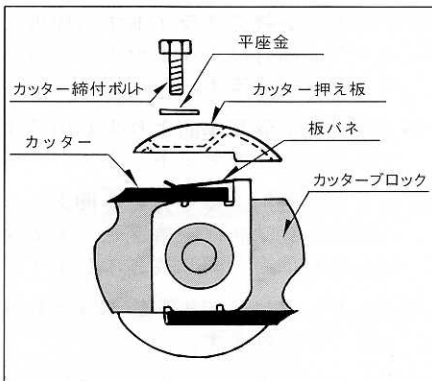
3. カッターの交換 (電源OFF)

- 切れ味の悪くなったカッターは機械各部に無理がかかるだけでなく、作業能率も低下しますので研磨するか新品と交換して下さい。
- カッターの交換は①ボックススパナでカッター締付けボルトを外し②カッター押え板、カッターを外します。③新品または、研磨済みのカッターをカッターブロック両端の板バネとカッターブロックの間にセットし④カッター押え板、カッター締付けボルトで仮締めします。⑤刃先調節の項を参照し刃先調節をします。⑥同様にもう1枚のカッターも交換します。



* 2枚のカッターの研磨状態が異なりますと、バランスが悪く本体の振動の原因となりますのでカッターは2枚をセットで交換して下さい。

- 4. ご使用後は本体各部のカナ屑等を取り清掃した後、お子様の手の届かない場所に保管して下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

発売元

 **リョービ販売** 株式
RYOBI 会社

 **リョービ** 株式
RYOBI 会社